

審査にご協力いただいた専門家の皆さま

○^{ささき}佐々木 ^{ひでゆき}秀之 氏 (宮城大学 事業構想学群 准教授)



2011年3月東北学院大学大学院修了。博士(経済学)。
東日本大震災以降、社会起業家育成、復興まちづくり計画策定、NPO・住民自治組織支援、コワーキングスペースの設置運営、地域資料のデジタルアーカイブ化等に従事。

2016年4月より現職。地域の資源・歴史を活かしたまちづくり・地域ビジネス・地域コミュニティの創造に、理論と実践の両面から取り組む。

【主な公職】

仙台市協働まちづくり推進助成事業審査員、富谷市協働のまちづくり推進審議会会長、利府町総合計画審議会会長

○^{いとう}伊藤 ^{さとこ}聡子 氏 (フリーキャスター・事業創造大学院大学 客員教授)



東京女子大学文理学部卒業、事業創造大学院大学修了。
大学在学中に TBS「関口宏のサンデーモーニング」でデビュー。スーパーモーニング(テレビ朝日)、ベストタイム(TBS)、アクセス(TBS ラジオ)等の報道情報番組のキャスターを務める。

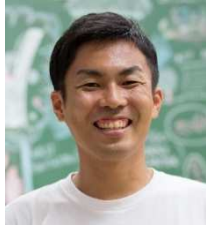
2002年、NYフォーダム大学留学。その後、国際貢献の現場や国内外のエネルギー関連施設を視察・取材する中で、途上国や日本の地域の自立にはビジネスの視点が不可欠と捉え、MBA(経営管理修士)を取得。

現在は「ひるおび!」(TBS)や「ミヤネ屋」(読売テレビ)等の報道情報番組でコメンテーターを務める一方、「地域経済の活性化が日本の元気を取り戻す鍵」を持論とし、地域に根差した独自の取り組みやビジネス事例を取材。地域をイキイキと輝かせるヒントをメディアや講演で伝えている。

【主な公職】

経済産業省中小企業政策審議会委員、経済産業省産業構造審議会 産業構造技術環境分科会 地球温暖化対策WG 検討委員

○^{うしだ}丑田 ^{しゅんすけ}俊輔 氏（ハバタク株式会社 代表取締役・シェアビレッジ株式会社
代表取締役・プラットフォームサービス株式会社 取締役社長）



慶應義塾大学商学部卒業。東京都千代田区の公共施設をまちづくり拠点として再生する「ちよだプラットフォームスクウェア」、日本 IBM の戦略コンサルティングチームを経て、2010年にハバタク（株）を創業。新しい学びのクリエイティブ集団として、国内外を舞台に様々な教育事業を展開。

2014年より秋田県五城目町を拠点に、田舎発起業家を育む「ドチャベン」、古民家を舞台に地域をつなぐ「シェアビレッジ」、遊休不動産を遊び場化する「ただのあそび場」、住民参加型の小学校建設「越える学校」をはじめとした地域の次世代が育つ教育環境づくり等を推進している。

○^{さいとう}齋藤 ^{かんじ}幹治 氏（公益財団法人東北活性化研究センター 専務理事）



1981年東北電力入社。東北観光推進機構推進本部長、（一社）東北経済連合会常務理事事務局長などを歴任。

2018年より、東北6県と新潟県における総合的な地域整備や地域・産業活性化に関する調査研究、プロジェクトの発掘・支援等に関する事業を通じ、東北と新潟の活力向上と持続的な発展に取り組む、（公財）東北活性化研究センターの専務理事を務める。

以 上